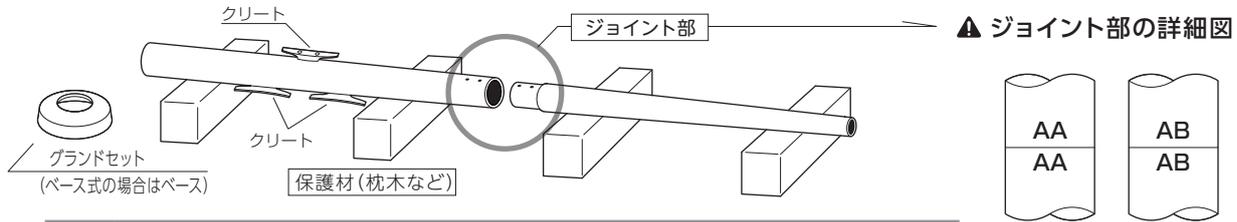


本書にはのぼりポール (NPN) の組立施工方法が記載されています。作業の前に必ずご一読ください。取り扱いに関しては別途「取扱説明書」をお読みください。

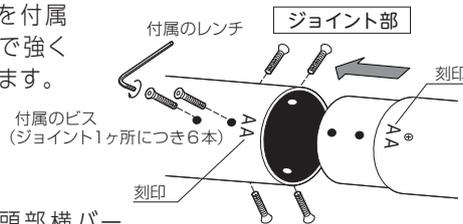
- 1 組立準備** ① 保護材 (枕木など) を用意し、できるだけ水平な場所を選んで並べて、その上にポールを置きます。
※ のぼりポールは高さに応じて分割されています。(下図は2分割の場合)



付属品 保証書、レンチ、ビス6本 / ジョイント1カ所、グランドセット (またはベース)、水抜きストッパー (埋込式)

- ⚠ ジョイント部は精度と強度を出すため、工場では仮組立てをしています。
組み付けの際は上図のように、必ず刻印 (AA、AB など) の記号の位置を合わせてください。

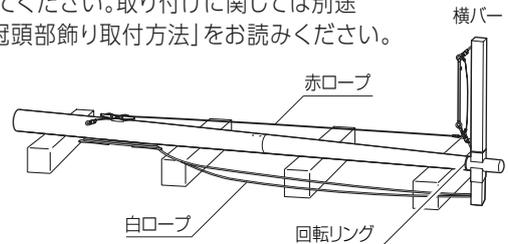
- 2 組立**
① ジョイント部の刻印 (AA、AB など) を合わせて接続し、ビスを付属のレンチで強く締め付けます。



- ② 冠頭部 (頭部横バー、横バー、ロープ等含む) に回転リングが付いていることを確認し、そのままポールに差し込みます。

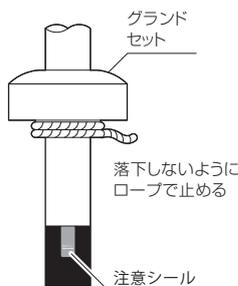
- ③ あらかじめくりつけてあったロープをほどいて、のぼり掲揚に必要なロープをクリートに仮止めします。

※ オプション部品 (冠頭部飾り) をつける場合は事前にセットしてください。取り付けに関しては別途「冠頭部飾り取付方法」をお読みください。



- ⚠ ・ビスの青色部分 (マイクロカプセル) には封入した接着剤が塗布されています。硬化時間 (約10分程度) 以内に締め付けてください。接着剤が落ちますので、再度の締め直しはしないでください。
・取り付け前にビスの青色部分が水に濡れると接着剤が落ちる可能性があります。雨などにあたらないようにしてください。

- 3 建柱**
① 埋込式の場合はグランドセットをポールへ通し、建柱作業の邪魔にならないよう、ポールに仮止めしておきます。
[グランドセット下部のポールにロープ (グランドセットに付属) を巻くなどして対処します。]



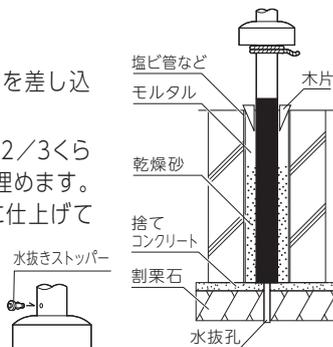
- ② レッカー、クレーンなどで吊り上げ、建柱します。
⚠ 危険ですので、風の無い時に行ってください。
※ 建柱の際に埋込部の位置は (左図の) 注意シールのGLラインに合わせてください。



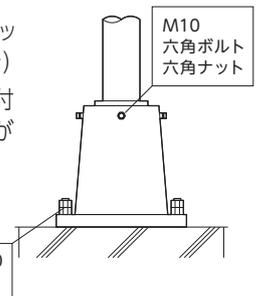
- 4 立てりを出す**
■ 埋込式の場合
① ポールと基礎との間に木片等を差し込んで立てりを出します。

- ② 位置を決めたら、乾燥砂を埋め込みの2/3くらいまで入れ、残りの1/3にモルタルを埋めます。基礎の天面は塩ビ管が見えないように仕上げてください。

- ③ 乾燥したら ③ で巻いたロープをほどいてグランドセットを降ろし、水抜きストッパーを穴に差し込みます。



- ベース式の場合
● ボルトを締め付けた後、ナットを締め付けます。(4ヶ所)
⚠ ボルトはしっかりと締め付けてください。締め付けが緩いとポールが回転したり、せり上がる恐れがあります。



- ⚠ モルタル (又はコンクリート) には、塩分を含む砂 (海砂) 及び塩素系強アルカリ系のコンクリート用混和剤 (急結剤・凝固促進剤など) は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。

SunPole

のぼりポール(NPN) 取扱説明書

生産物賠償責任保険に加入しています。

サンポール

はじめに

この度はのぼりポール〈NPN シリーズ〉をご採用いただき、
誠にありがとうございます。

本書は製品の取り扱いに対し重要な事項について説明していますので
のぼりポールをお使いになる前に必ずお読みください。

お読みになった後はいつでも使えるように、
大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

1. のぼりやロープにぶら下がらないでください。
2. ポールによじのぼったり、故意に衝撃を与えないでください。
3. のぼり昇降中に、のぼりの下に入らないでください。
4. 風速 15 m / 秒以上の強風が予想される時は、のぼりを外してください。
5. 事故防止のため、夜間のはぼりの使用を避けて下さい。
6. ロープにほつれがないか定期的に点検してください。
ほつれが発生した場合は、早めに交換してください。

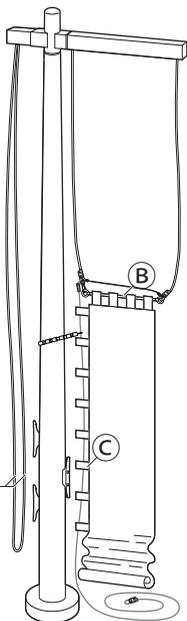
目次

1	取り扱いについて	1
---	----------	---

2	ロープの交換について	3
---	------------	---

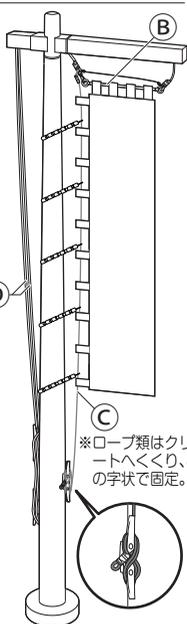
3

- (1)白ロープ①2本を同時に引いて、一つ目の揺れ止めリング(付属品)を赤ロープ②に取り付けます。
※揺れ止めリングの一つ目は、縦側一番目のチチの下へ右図のようにつけて下さい。
- (2)再び白ロープ①2本を同時に引き、クリートへ仮止めしながら二つ目以降の揺れ止めリングを上記同様に付けます。③
※ポール長さにより、揺れ止めリング数が異なります。のぼりの長さに合わせてバランス良く取り付けして下さい。



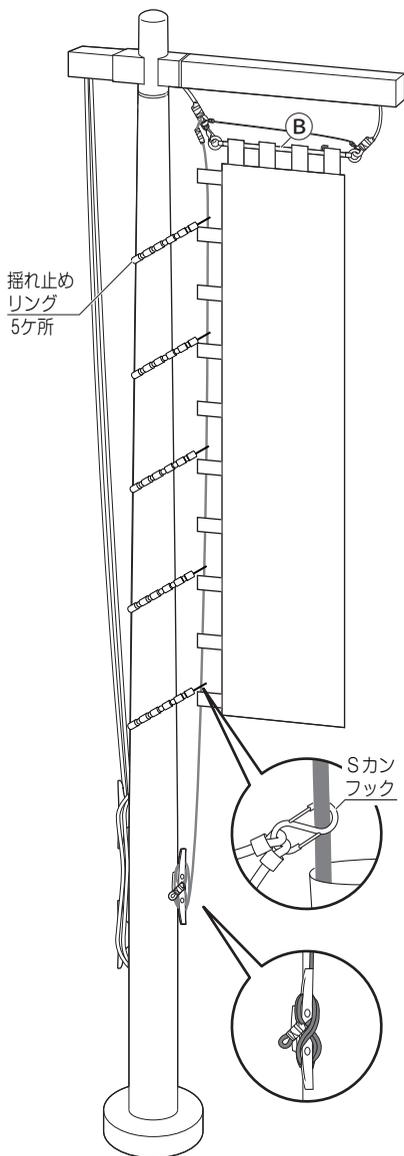
4

- (1)揺れ止めリングを全て付け終わったら、旗バー④を水平に保ちながら最上部まで白ロープ①2本を引き上げ、クリートに固定します。⑤
- (2)赤ロープ②を引っ張り、クリートに固定します。
※オプション
のぼりの揺れ止め用リングは追加分としてご用意しています。
詳しくは当社までお問い合わせ下さい。



揺れ止めリング取付例

10mポールの場合(揺れ止めリング5個使用)



2. ロープの交換について

本頁には、のぼりポールNPNのロープ交換方法が記載されています。作業の前に必ずご一読ください。

用意するもの

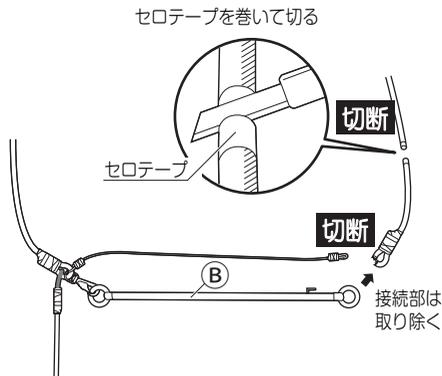
必要な工具

- ・ハンマー
- ・マイナスドライバー
- ・カッター
- ・ビニールテープ
- ・セロテープ
- ・針
- ・糸

交換する部品

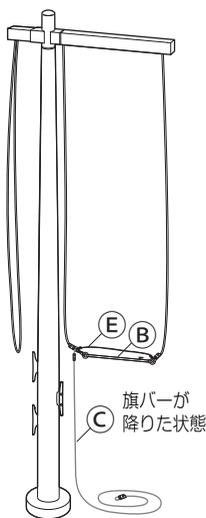
- ・交換用白ロープ 1本
- ・交換用赤ロープ 1本
- ・クランプ管 4個
- ・交換用補助ロープ 1本
- ・圧着管 2個

2



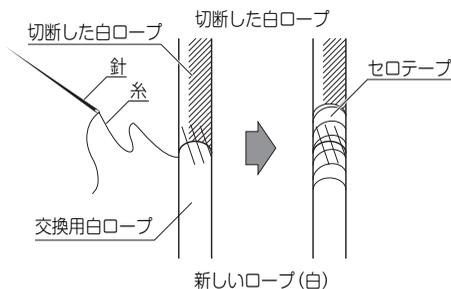
旗バー⑥の右側に接続された白ロープを、
上図のように切断して外します。

1



赤ロープ③を引き、旗バー⑥を手元まで降ろします。

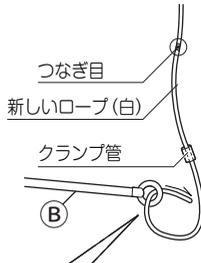
3



②で切断した白ロープの切り口と新しいロープ(白)の切り口を糸で縫い合わせ、その上にセロテープを巻いてつなぎます

4

新しいロープ（白）の
もう一方の端部を旗バ
ー③の取付口に通し、
下図の様にしっかりつ
なぎます。

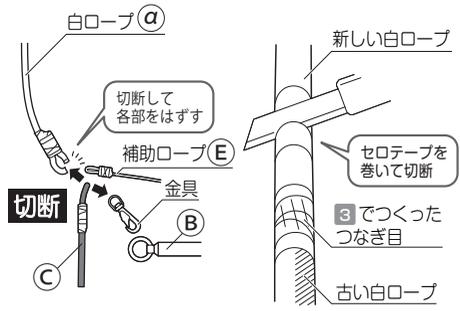


①交換用白ロープの先端にクランプ管を通し、そのまま旗バー③に通します。

②クランプ管をハンマーで全体的に叩いてつなぎ、その後、ドライバーで中心を十字に叩いて強くかためます。

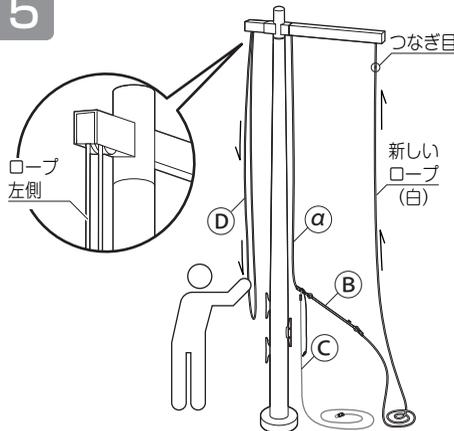
③ビニールテープを巻きつけます。

6



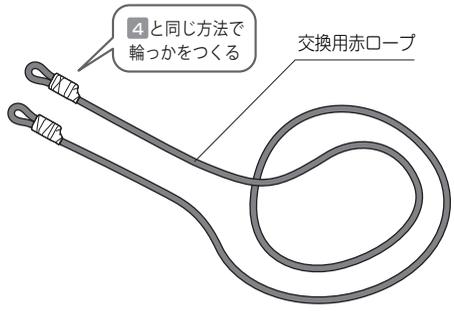
- (1) 白ロープ④の金具を旗バー③から外します。
- (2) 白ロープ④の接合部分を図のように切断して、赤ロープ①と補助ロープ⑤及び金具を外します。
- (3) ⑤で手元まで降ろしておいたつなぎ目部分の新しいロープ側にセロテープを巻いて切断します。

5



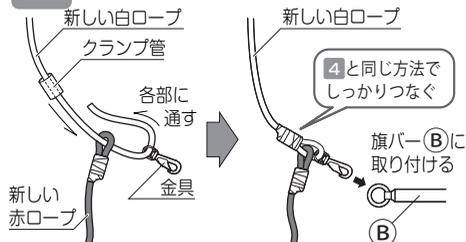
- (1) ③でつくったつなぎ目が手元に来るまで白ロープ④の向かって左側のロープを引き続けます。
- (2) 次に白ロープ④を引っぱり、③でつくったつなぎ目を手元へ引き寄せます。

7



- (1) 赤ロープをつくります。
- (2) ④と同じ方法で、交換用赤ロープの両端にクランプ管を取り付けて輪っかをつくります。

8



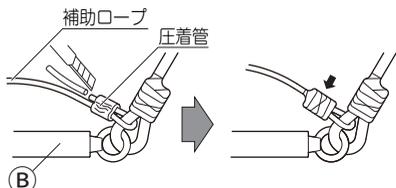
- (1) 6で切断した新しい白ロープの先端を新しい赤ロープと金具に通し、しっかりつなぎます。
※新しい赤ロープを付け忘れると、旗バー(B)を降ろせなくなりますので注意してください。
- (2) 新しい白ロープの金具を旗バー(B)に確実に取り付けます。

9

補助ロープの取付け方



- (1) 補助ロープを上図のように長さ調整して、白ロープにつなぎます。



- (2) 圧着管をハンマーで全体的に叩いて潰し、余分なロープを切断します。
- (3) 圧着管の上からビニールテープを巻きます。

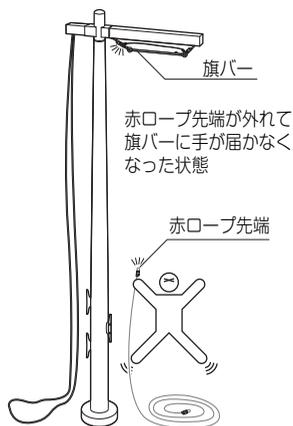
最後に各ロープの接続部、金具部(スイベルアイスナップ)を確認し、昇降動作に異常がないことを確認してください。

困ったときは

赤ロープの接続部分が何らかの理由で外れる、または切れて、旗バーが上がってしまった場合(下図)は、以下のような対処で降ろしてください。

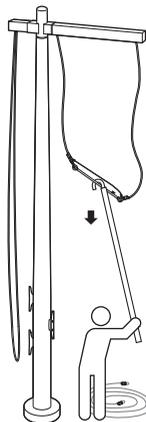
- ▲ 今後の作業時には、必ず赤ロープがしっかりと接続されていることを確認してください。

● 旗バーに手が届かない!



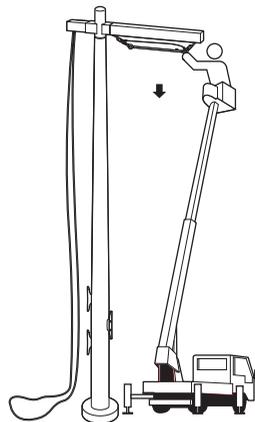
▼ 対処 1

フックの付いたポールなどを使用



▼ 対処 2

高所作業車を使用



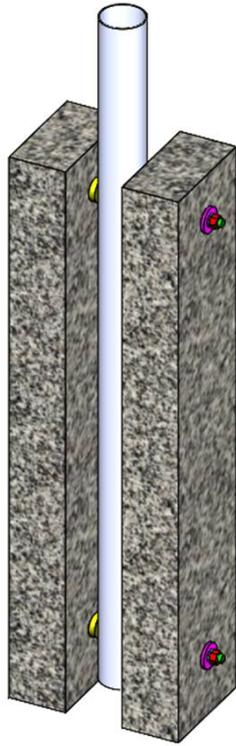
株式会社 **サンポール**

本社 〒730-8667 広島市中区南吉島2-4-5 TEL(082)244-4655 FAX(082)243-5914
東京 〒105-0004 東京都港区新橋2-2-9 TEL(03)3591-8501 FAX(03)3591-8561

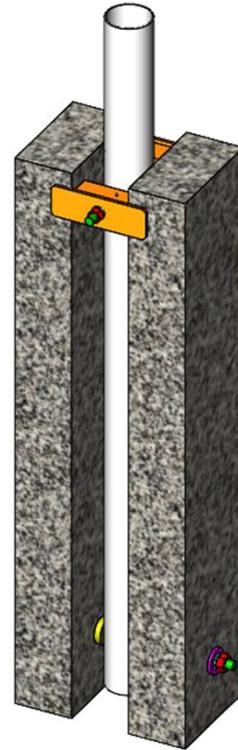
REV.1911M

石柱取付要領

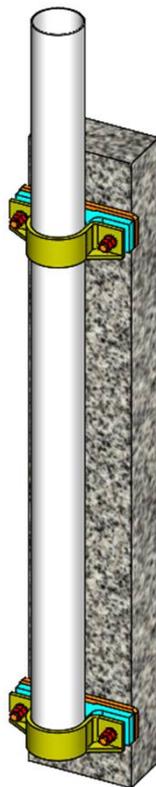
上下寸切タイプ



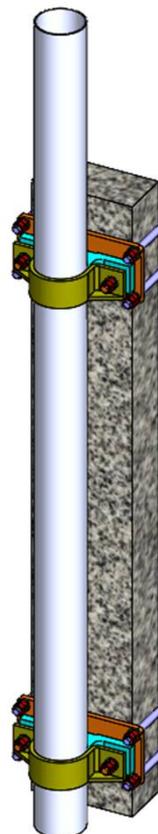
クロスタイプ



上下Tタイプ

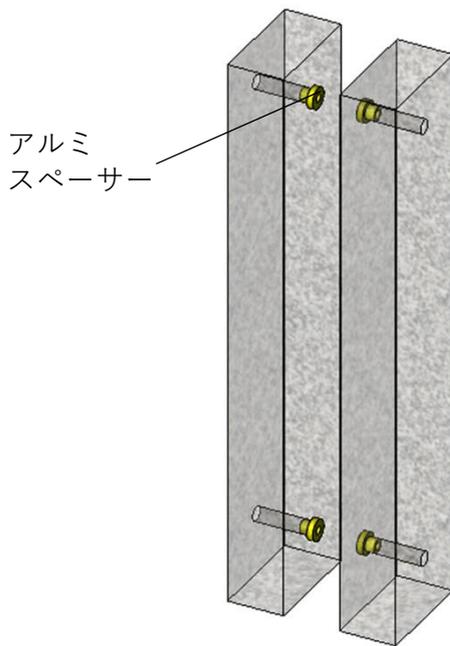


上下Uタイプ

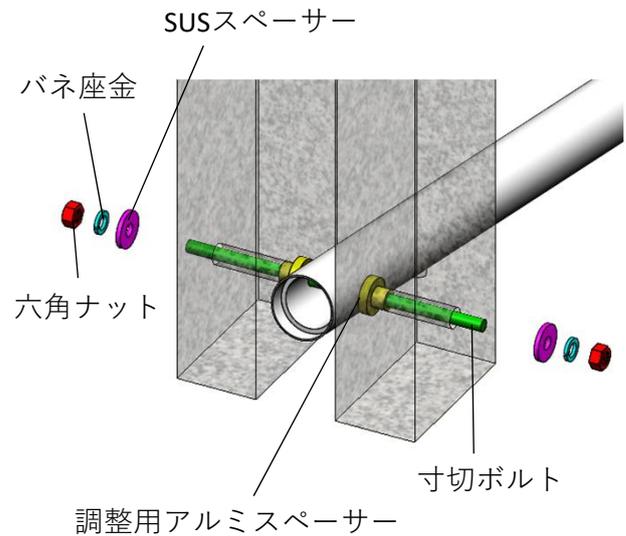


●上下寸切タイプ（石柱穴が大きい場合）

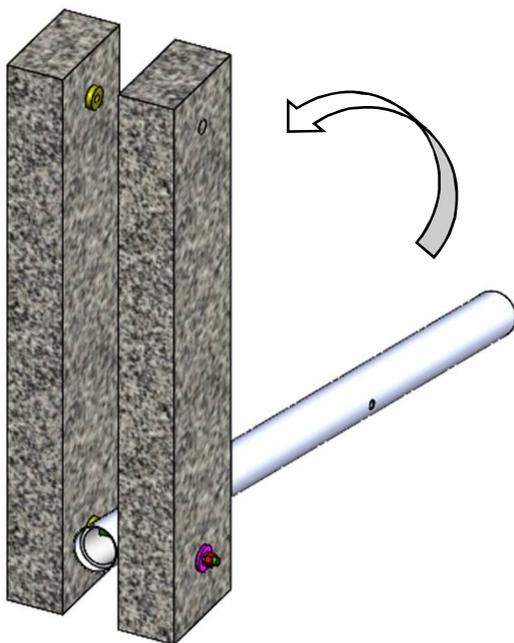
1. 石柱の穴の内側にアルミスペーサーをセットしてください。



2. ポールと石柱の下側の穴を合わせ、寸切ボルトを通してナットで固定してください。
調整用スペーサーを使用して隙間がなくなるよう適宜調整してください。



3. クレーンなどの重機でポールを吊り上げてください。

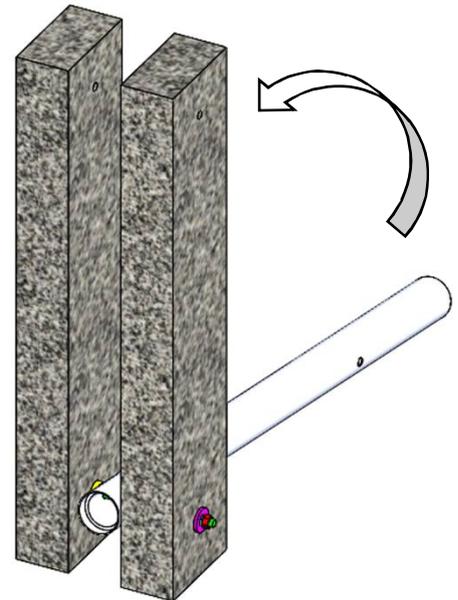
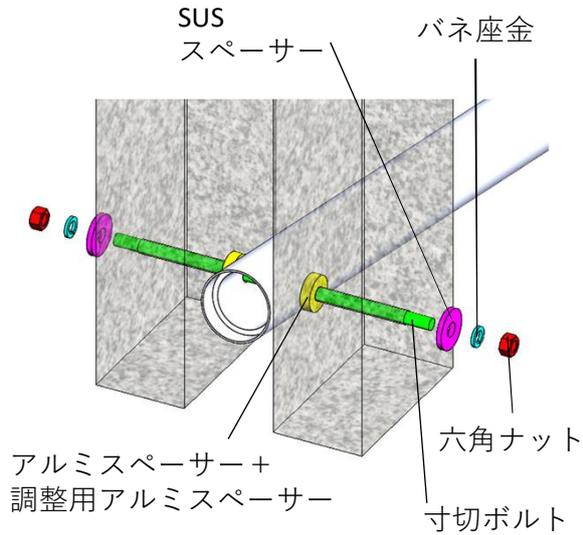


4. 下側と同様に調整用スペーサーで石柱間の隙間をなくし、寸切ボルトを通してナットで固定してください。

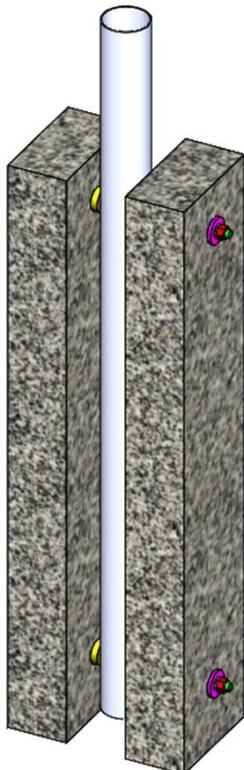


●上下寸切タイプ（石柱穴が小さい場合）

1. ポールと石柱の下側の穴を合わせ、寸切ボルトを通してナットで固定してください。
調整用スペーサーを使用して隙間がなくなるよう適宜調整してください。
2. クレーンなどの重機でポールを吊り上げてください。

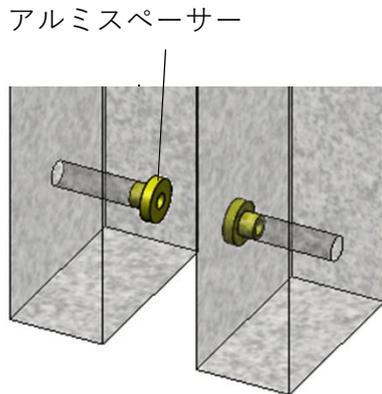


3. 下側と同様に調整用スペーサーで石柱間の隙間をなくし、寸切ボルトを通してナットで固定してください。

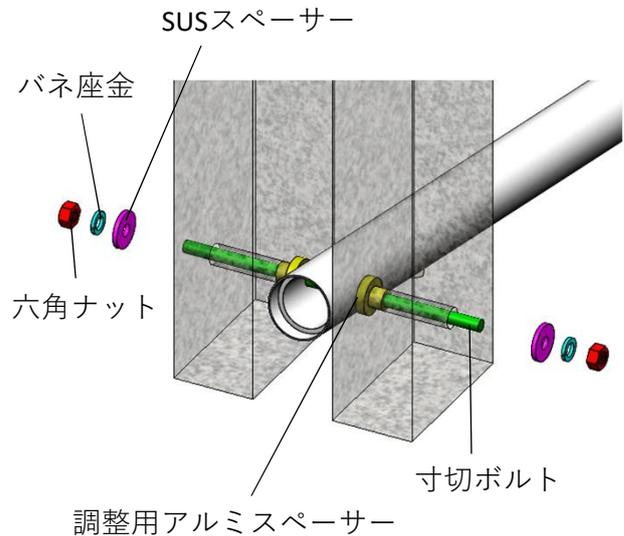


●クロスタイプ（石柱穴が大きい場合）

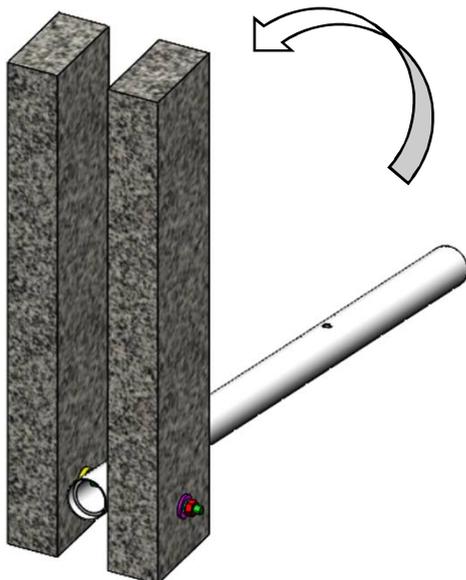
1. 石柱下側の穴にアルミスペーサーをセットしてください。



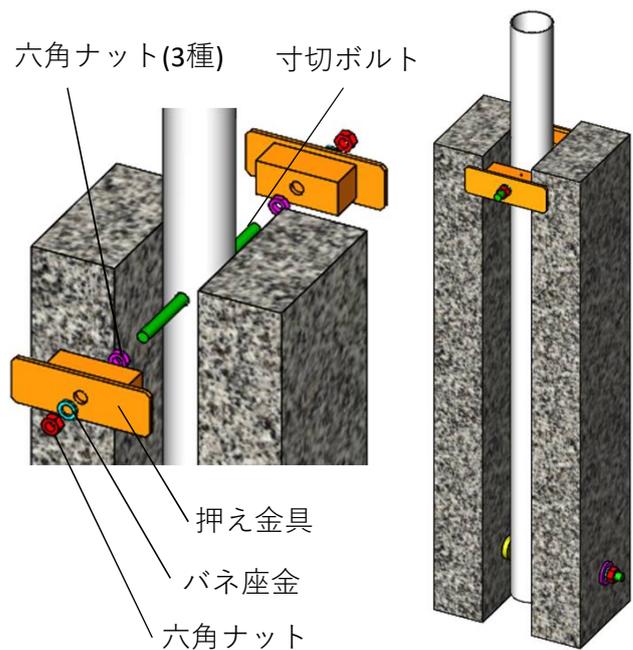
2. ポールと石柱の穴を合わせ、寸切ボルトを通してナットで固定してください。調整用スペーサーを使用して隙間がなくなるよう適宜調整してください。



3. クレーンなどの重機でポールを吊り上げてください。

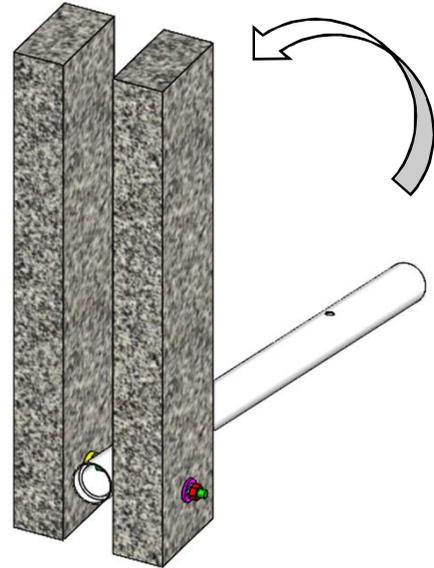
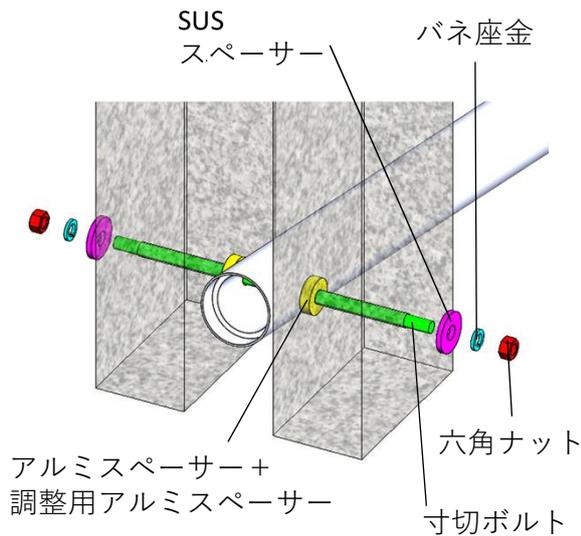


4. ポール上側の穴に寸切ボルトを通し、ナット(3種)で前後の出代が均等になるように固定してください。ボルトに押え金具を通し、ナットで固定してください。

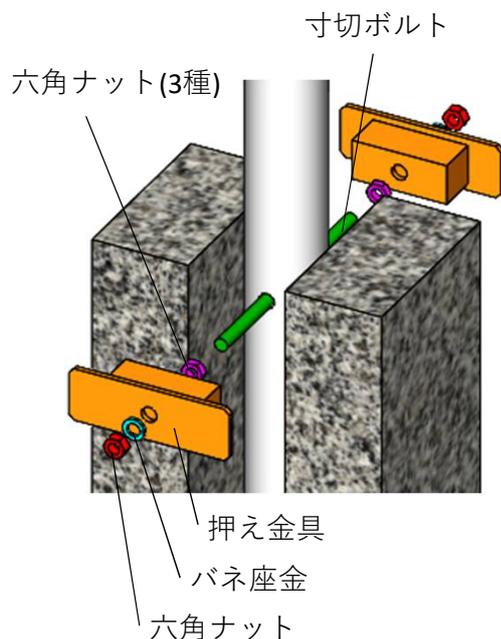


●クロスタイプ（石柱穴が小さい場合）

1. ポールと石柱の下側の穴を合わせ、寸切ボルトを通してナットで固定してください。
調整用スペーサーを使用して隙間がなくなるよう適宜調整してください。
2. クレーンなどの重機でポールを吊り上げてください。

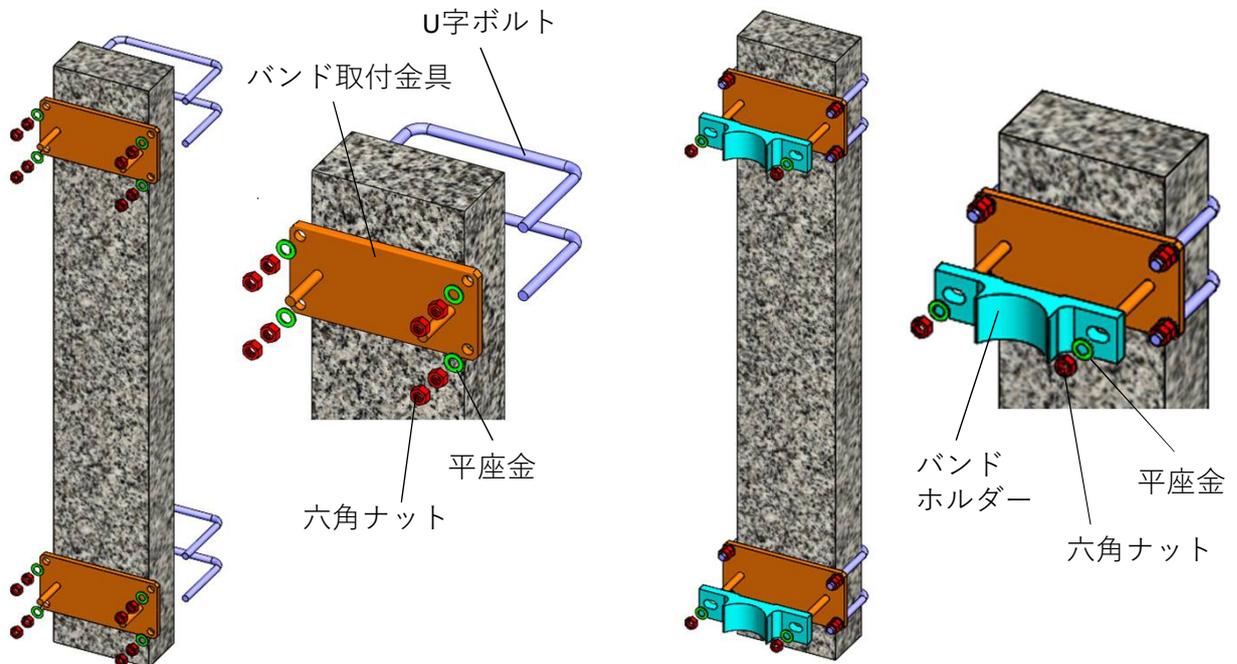


3. 重機で吊り上げたまま、ポール上側の穴に寸切ボルトを通し、ナット(3種)で前後の出代が均等になるように固定してください。
ボルトに押え金具を通し、ナットで固定してください。

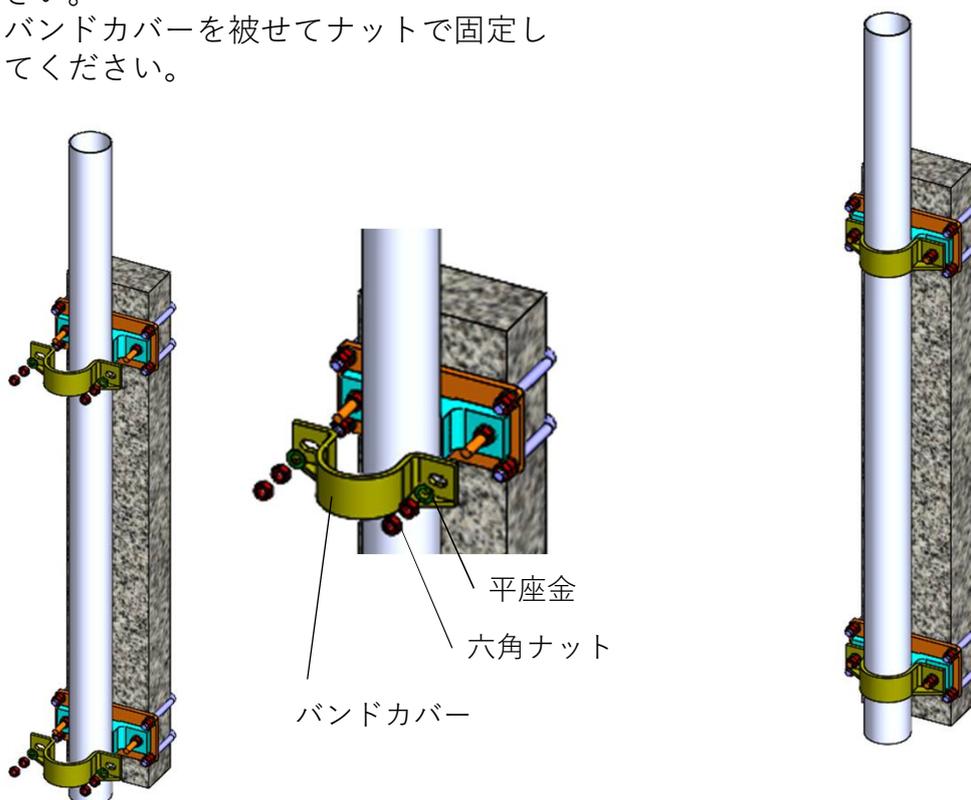


●上下U型タイプ

1. バンド取付金具をU字ボルトで石柱に固定してください。この時図面に記載しているピッチで取付けてください。
(※U字ボルトは1段の仕様の場合もあります。)
2. バンド取付金具にバンドホルダーをナットで固定してください。

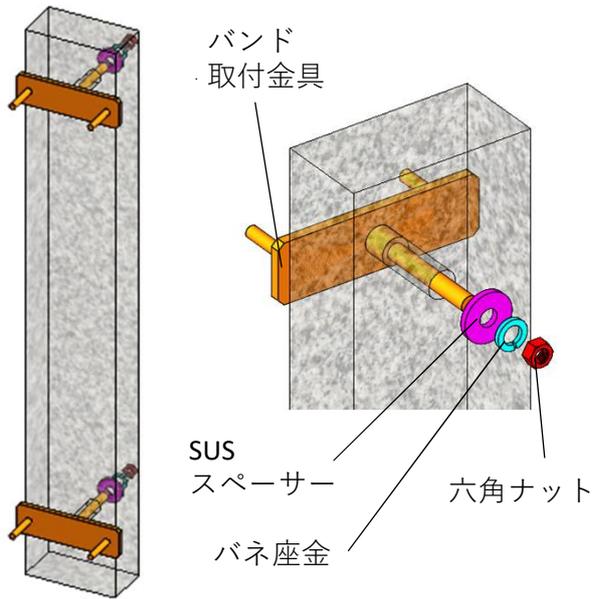


3. クレーンなどの重機でポールを吊り上げ、バンドホルダーに沿わせます。この時ポール下端は地面に当ててください。バンドカバーを被せてナットで固定してください。

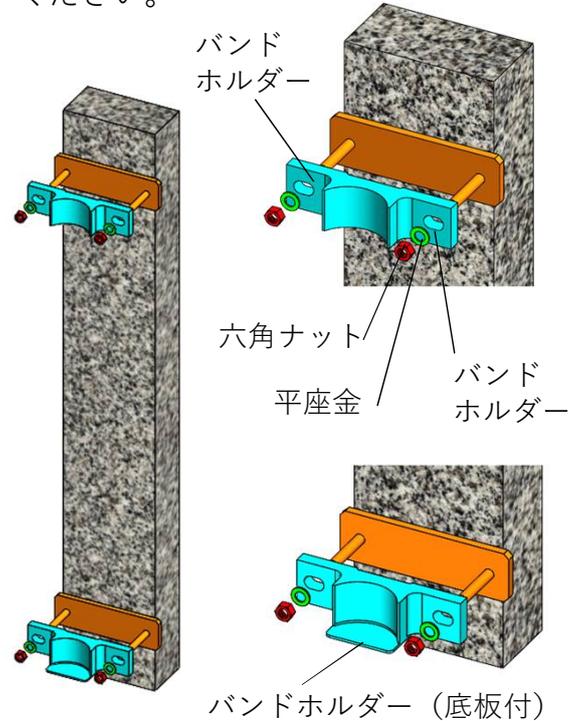


●上下T型タイプ

1. 石柱の穴にバンド取付金具を取り付け、ナットで固定してください。



2. バンド取付金具にバンドホルダーをナットで固定してください。下側には底板付きのバンドホルダーを取付けてください。



3. クレーンなどの重機でポールを吊り上げ、バンドホルダーに沿わせてください。この時ポール下端はバンドホルダーの底板に乗せてください。バンドカバーを被せてナットで固定してください。

